

令和4年度 第3回 福井警察署協議会 開催結果

1 日時

令和4年10月28日（金）午後1時30分から

2 場所

福井県警察本部留置施設、福井県警察学校、福井警察署

3 出席者

- 協議会委員 8名
- 福井警察署 署長以下3名

4 内容

(1) 福井県警察本部留置施設視察

ア 留置管理課長説明
施設概要、留置場日課時限
被留置者の処遇等

イ 留置場内見学

(2) 福井警察署米松交番視察

ア 交番内見学
イ 交番襲撃対処訓練見学

(3) 音楽隊訓練視察

(4) 逮捕術訓練視察

(5) 署長挨拶

(6) 視察感想



音楽隊訓練の視察の様子

【委員】

交番襲撃対処訓練や逮捕術訓練を見て、命がけで来る相手に対応する警察官は大変だと感じた。警察官は訓練を重ね、我々の生活を守っていることを知り、参考になった。

【委員】

音楽隊の方も逮捕術特練員の方も生き生きとしており、警察の方も色々な分野で、楽しみながら自分の仕事を全うしているということを感じた。

【委員】

交番勤務の警察官の方は、安全で安心な街づくりのために日々大変なストレスを感じながら仕事をされているのだと思った。そんな姿に、私自身は勇気づけられ、元気をもらい、皆さんがこんなに頑張っているのだから私も頑張らなければという思いになった。

【委員】

真剣に取り組まれている音楽隊や逮捕術特練員を見て、福井県民として安心して暮らせると思った。

【委員】

音楽隊も逮捕術特練も、日々の訓練は大変だと思う。音楽隊員の中には未経験者もいて、日々の業務もしながら、短い練習期間で未経験者と分からない位まで成長されており、大変なご努力をされていると思った。

【委員】

「気は優しくて力持ち」という言葉があるが、「気は優しい」部分は音楽隊だと思う。すばらしい広報活動で、警察を身近に感じられると思う。警察官は拳銃を携行しているが、日々訓練に汗水を流し、拳銃を使用せずとも悪に立ち向かうという正義感を感じた。

(7) 質疑応答

【委員】

新人の方が、指導者から指導を受け訓練をしていたが、現場においていかに機敏に行動できるようにするかが課題だと思う。

【署長】

日々、訓練を積み重ねていくしかないと考える。

【委員】

刺股等の装備があるが、その他に、犯人を捕獲するために網のような物はないのか。

【署長】

その様な装備がないわけではないが、全ての駐交番に備え付けられていないのが現状であり、ハード面も充実させていかなければいけないと考える。

【委員】

狭いスペースでも、手軽に使える装備などがあればいいと思う。